

前田さんに保護司特別功労章

このたび、満年齢退任にあたり、法務大臣から、前田義機さん（栄）に保護司特別功労章の記が授与されました。

前田さんは、役場職員の傍ら昭和58年から保護司となり、西伯保護区保護司会長、鳥取県保護司連合会長、中国地方保護司連盟会長、全国保護司連盟副会長を務められました。36年あまりの長きにわたり、保護司として、更生保護に尽くされ、対象

者が立ち直り、社会の中で生活できるように支えてこられました。



▲前田義機さん

ボランティア・ロード大山・名和に感謝状

このたび、ボランティア・ロード大山・名和女性団体連絡協議会（杉原純子会長・会員55名）に、国土交通省中国整備局倉吉河川国道事務所の高木所長から感謝状と記念品が贈られました。

同協議会は平成24年から、大山インター周辺の清掃活動を行っています。感謝状を受け取った杉原会長は「2か月に1回の清掃活動ですが、活動を評価してもらい、会員の励みになります。今後も環境美化のため、活動を続けていきます」と話されました。



▲感謝状を手にする杉原会長（右）

保育所に絵本を寄贈

「もういちばんはもういちばん」

「たくさんの人にもっと牛のことを知ってもらいたい」という思いで作られた物語がこのたび絵本になり、作者の吉田裕美さん（樋口）が、町内の保育所に1冊ずつ寄贈されました。

吉田さんの筆文字で書かれたこのお話は、牛の「もうちゃん」が主人公で、牛の誕生から成長までの過程や酪農について、パステルカラーで彩られた温かいイラストとともに描かれています。

吉田さんは60年続く酪農家で、現在100頭の牛を飼育しておられま

す。3人の子育ての傍ら、趣味で書き溜めていた絵が、普及所職員の方に留まり、「食育に役立つのでは」と声をかけられたのが、本を作るきっかけになったそうです。

7月25日、町内の保育所を代表して絵本を受け取った中山みどりの森保育園の園児たちは、吉田さんに読み聞かせをしてもらい、イラストの中に「うし」の字を見つけて喜んだり、吉田さんが用意したクイズに答えたりと、楽しい時間を過ごしました。



▲読み聞かせをする吉田さん



▲園児の代表が絵本を受け取りました（中山みどりの森保育園）